

# 室町時代のご当地曲 能「西宮」を謡おう！

能「西宮」を謡おう！実行委員会（関係課：文化振興課）

事業費 440,241 円

助成額 300,000 円

## ●当初の課題・事業目的

西宮市が「住み続けたい街」として永く市民に愛される街になるためには自分たちの街を再認識し地域への愛着や誇りを感じる事が大切であり、地域の文化や歴史に触れ現在から未来への意識を高める必要があるとの思いから、西宮をキーワードとした伝統文化や地域の歴史に親しみ知識を深める機会づくりを目的に開催しました。



代表 寺澤 幸祐

## ●事業概要

現在は上演されていない能の演目『西宮』をテーマとした「謡の練習会」と「講演・発表会」の全5回を実施。

【練習会】能楽師の指導で能『西宮』の謡を練習する体験型講座 [参加者数：4回延93名]

[1]令和2年12月12日(土)13時30分～西宮神社 [2]12月18日(金)17時30分～西宮神社

[3]12月24日(木)13時30分～廣田神社 [4]令和3年1月9日(土)13時30分～廣田神社

【講演・発表会】専門家による講演や朗読と謡でストーリーをたどる上演など能の演目や西宮について学ぶ機会とともに練習会参加者が能楽師とともに謡う成果発表の場としての催し

[参加者数：45名(練習会参加者24名、一般参加者15名、地域関係者6名)]

令和3年1月16日(土)1時30分開演 西宮市フレンテホール



## ●事業の成果・工夫した点

様々な環境の人が参加しやすいよう曜日や時間を変えた開催日時を設定し、希望回数での申込を可とした。そのため小学生とその保護者や現役世代、高齢層まで幅広い世代の参加があった。また講座が単調にならないよう能楽師の実演や関係者によるお話など練習以外に毎回学びや楽しめる時間を作ったことで追加申込も増え参加者の意欲向上につなげることができた。

## ●苦労した点・今後の課題

新型コロナウイルス感染症の影響で、実施について日々の相談、対策のための増員や想定外の準備など思わぬ負荷があった。また最終日は緊急事態宣言下となり、実施条件はクリアしていることと参加者の希望の声などにより実施を決めたが過度の告知は控えることとなり残念に思う。市政ニュース記事を見ての申込者も多く、ネットだけに頼らない幅広い告知の方法を今後も検討したい。

## ●代表者の感想

現行曲ではない能『西宮』をテーマとする事業であり、今年度は新型コロナウイルス感染症のことなど苦心するところも多くありましたが無事の終了を迎えられ、好評のコメントも多数頂き嬉しく思っています。能『西宮』により多くの方が親しんで頂けるよう検討を重ね活動していきたいと思っております。